

## 第6回低線量被ばくのリスク管理に関するワーキンググループ概要

日時：平成23年12月1日（木） 18:00～20:00

場所：航空会館 501+502 会議室

出席者：

（有識者）遠藤啓吾氏、神谷研二氏、酒井一夫氏、長瀧重信氏（共同主査）、  
中谷内一也氏、丹羽太貫氏、前川和彦氏（共同主査）、

[五十音順]

（政府側）細野原発事故の収束及び再発防止担当大臣、中塚内閣府副大臣、佐々木内閣官房副長官補、鷺坂環境省水・大気環境局長、安田内閣審議官、伊藤内閣審議官、矢島内閣審議官

議事： リスクコミュニケーション

1. 中谷内一也 同志社大学心理学部教授より、「リスク認知の心理学」と題して、「低線量放射線リスクを定量的に理解してもらうために」、「たとえや比較で注意すべきこと」、「理解すること、感じること、行動すること」、「鍵を握るのは信頼。では、信頼は何によって決まるのか」等について説明。

◆上記について質疑応答

2. 神谷研二 福島県立医科大学副学長より、「福島第一原子力発電所事故の経験から学ぶ—放射線リスク情報を中心に—」と題して、「放射線の人心と社会への影響」、「福島第1原発事故に伴う放射線リスク情報の問題点」、「福島での健康管理に必要な取り組み」、「福島県民健康管理について」、「住民を護る放射線防護と健康管理のキーワード」等について説明。

◆上記について質疑応答

以上